

令和8年度 福井県立若狭高等学校(全日制)スクールプラン

業務改善のための取組	人権教育の推進
・生成AIを活用して業務の効率化を研究・推進。 ・Teamsをさらに活用し、型どおりの会議は短縮し、より本質的な話し合いの時間がとれるようにする。 ・部活動休養日の遵守。協同管理による部活動の運営，主顧問・副顧問の役割分担。文化部副顧問の役割拡大。部活動指導員の活用を通して教員が休養できる環境を整備。 ・職員会議・運営委員会等の各会議の効率化、開催数の削減と短時間化。担任・副担任の協働推進。 ・生徒への配付物、PTA等、行事における保護者への配付資料をPDF化し、紙の使用量を削減。	・人権意識の向上をはかり，相互に個人として尊重する態度を養う。 ・差別をなくすために真剣に努力する態度を養う。 ・感謝の気持ちを大切にし，全体のWell-beingの実現をはかる。

重点目標

教育課程・学習支援	PTA・同窓会・地域との連携・式典統括・環境整備	図書・情報等の管理と発信	生徒のキャリアサポート	探究的な学習の推進	自主・自立の精神，自他の敬愛と協力の精神の育成	保健管理・教育相談	各部署・各学科・各学年との連携によるきめ細かな生徒支援	学習/環境の整備
教務部	庶務部	図書学習センター	キャリアサポートセンター	SSH・研究部	生徒支援部	保健部	学年会	経営企画部
教職員の授業力の向上を通して、生徒の学習に対する意欲を高め適切な学習環境づくりを図る	P T A ・同窓会・地域住民との連携を深め、生徒の成長を支え、地域から信頼される開かれたい学校づくりを推進	①生成AI活用による「学び」と「校務」の最適化 ②生徒の 教科学習 や、進路選択・探究活動と関連するテーマについて、図書資料を通して考える機会を提供する	①「ライフデザイン教育」の推進を通して、生徒自身将来の生き方、職業や地域の未来について考える場を提供する ②データに基づいた学習計画の作成と情報の共有をすることで、生徒それぞれに適した授業・学習内容につなげる	①「楽しくなければ探究じゃない」をスローガンとし、探究的な学習の充実による生徒の 持続的課題深化能力 の育成 ②SSH・国内外の高校・大学等との連携によるカリキュラム開発と評価方法の研究開発 ③教科「探究」および各教科における探究的な学びに関する研修会等を通して、全校的な教員コミュニティの形成を図る	①生徒会行事や部活動、ボランティア活動を通して、 主体的 に行動し他者と協力する経験を重ねることで、自己肯定感の向上と他者を理解し尊重する心の精神、その実践力を高める ②自律心と規範意識の醸成	①生徒の健康や体力増進に対する意識の向上 ②学習環境の整備 清掃活動に自主的に取り組む姿勢の育成 ③校内各部署・各学年会や外部専門機関との連携による、悩みや問題を抱えた生徒への迅速かつ適切な対応	①生徒が主体的に関わり、協働を通して共に成長できるクラス環境の構築。 ②保護者との継続的で丁寧な情報交換による、相互理解と信頼関係の構築	①生徒が安全・快適に学べる環境整備 ②事務手続きや会計の効率化

具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組
教職員の授業力の向上 各教科等における見方・考え方を明確にした授業の実践を通して、知識の構造化を促し、思考・表現・判断する力の育成を図る。 目標：授業の分かりやすさなど生徒の授業への満足度 80%以上 ねらいを共有した互見授業への参加3回以上 80%以上	P T A総会、各種行事、各委員会活動、同窓会総会などの場で積極的な参加と意見交換の充実に努める。 目標 ・P T A総会の参加率50%以上、満足度80%以上 ・P T A・同窓生・地域住民が参加した行事の述べ参加人数 4000人以上 ・P T A・同窓生・地域住民が関わる行事の実施回数 10回以上	＜具体的な取り組み＞ ①生成AIを「知の拡張」として活用し、生徒の主体的な学びと教員の創造的な時間を創出する。 目標 ・生成AIを学習を深めるツールとして正しく活用できる生徒：80% ・生成AIを業務のパートナーとして運用する教員：80% ② 教科学習 や 自己の進路 、探究課題を深める図書資料についての案内を強化する。 目標 ・興味や進路に関連する文献を、 教科学習 や 探究 、進路選択の根拠として活用した生徒：80% ・ 生徒の教科学習や進路選択 、探究活動と関連するテーマについて、図書資料を通して考える機会を提供した教員：80%	①「ライフデザイン講座」を継続実施する。放課後に地元で働く社会人、大学等各種学校の先生、本校OB・OGを講師に招き、様々な分野に関する講演会や交流会を開催し、生徒が自分の将来や生き方、職業や地域について(自分ごととして体験・経験し)未来を考える機会を提供していく。 目標：自分の将来や生き方、職業や地域の未来について考える機会を得た生徒90%以上 ②各種試験の分析を行い、今後の対策を検討し実行していく。特に、生徒自身による模試分析の支援を充実させることで個別最適な学習につなげていく。 目標：定期考査、模擬試験等の実施後、見直しや弱点克服を行った生徒90%以上 定期考査、模擬試験等の実施後、結果分析を行った教員90%以上	①教科「探究」に関する授業研究を組織的に行うために、「探究」の各科目のリーダーと探究主任が連携し、定期的に打ち合わせを行う。 ②教科「探究」および各教科における探究的な学びの授業力向上を図るため、各教科内において授業担当者が定期的に打ち合わせを行い、授業改善に関する研究を深める。 ③教科「探究」に関する研修会等を実施し、授業力の向上を図るとともに、全校的な教員間のコミュニティを形成を促進する。 目標 ・探究的な学びを通して、持続的課題深化力が身についた生徒が80%以上 ・各教科および教科「探究」の授業において、探究的な学びの視点を取り入れた授業づくりを行うことができた教員が80%以上	①生徒会行事・部活動・ボランティア活動において、自己理解と多様性の大切さを理解させることに努め、思いやりや助け合いの精神、その実践力を高める。 目標 学校生活を振り返り、自分自身を認めることができたり、他者に対して思いやりのある行動がとれたりしたと自覚できる生徒80%以上を目指す。 ②8時20分までに教室に入ることを奨励し、5分前行動を習慣づける。 目標 不注意による遅刻がゼロの生徒90%以上を目指す。 ②自分の命を守るために、登下校での自転車乗車時にヘルメットの着用することを呼び掛けるとともに交通法規の順守を徹底させる。 目標 登下校で自転車乗車時のヘルメット着用100%と自転車への交通反則通知（青切符）の交付0%を目指す。	①検診結果をもとに自己の健康状態を把握させ、日常的に生徒自ら健康管理ができるように努める。 目標 生徒の健康管理・体力増進に対する意識向上率85%以上 ②時間いっぱい清掃に取り組ませるとともに、教室や身の回りの整理整頓、ごみの分別など環境整備に努める。 目標 生徒の自主的・積極的な清掃取り組み率85%以上 ③個々の生徒に応じたきめ細やかな面談等における生徒、保護者への対応及び見立て、手立ての明確化 アンケート等による生徒の状態把握及び面談記録の記載と関係者の情報共有 目標 生徒の問題対応においての手立てや解決策・安心感についての生徒・教員の満足度80%以上	①生徒が 互いを尊重し 、安心して自分の考えや意見を表明できるクラス環境を整える。また、生徒一人ひとりの思考や活動に寄り添う「伴走者」として支援し、生徒の主体的な姿勢を引き出す。 目標 ・学校行事やST・LT等のクラス活動を通じて、 協働的・主体的に様々な活動 に取り組むことができた生徒が80%以上 ・生徒の活動に寄り添い、生徒が 様々な活動 に主体的にに取り組めるよう支援できた教員が90%以上。 ②日頃から保護者との連絡や保護者会での情報共有を密に行い、共通理解を深める。そのうえで、教職員と保護者がそれぞれの役割を意識し、連携して生徒を支援する。 目標 ・保護者が担任との間に信頼関係が構築されていると実感する割合が80%以上。	① 1)緊急に対応する特別工事の実施による安心安全の確保5件 ・空調設備の突発的な故障対応、水道管の老朽化による漏水対応など 2)リノベ工事の円滑な実施 ② 1)私費会計のペーパーレス化・効率化 3件 ・私費会計（学年会計）のペーパーレス化 ・私費会計（PTA会計）へのネット取引の導入 など 2)事務手続きの効率化 3件 ・不在時の伝言等メモの代替としてチャットを利用 など